

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和元年12月27日

事業所名 放課後等デイサービス めくもりすぺいす虹っ子

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	3				次年度に向けて曜日による人数の偏りを均していく
	②	職員の配置数は適切であるか	12					
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか	6	6			立地条件上、エントランス部分、2階への移動などバリアフリー化は難しい。活動空間は適切な環境と考える 課題・遊び・おやつ場所を明確にし、子どもたちにわかりやすくしている	発達障害の子どもたちがわかりやすく過ごせるための環境調整を今後も行っていく
	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	12					
業務改善	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12				年に1回事業所内評価を実施している	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12					これまでWeb上で公開してきたが、会報誌または虹っ子通信への掲載についても検討している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	3		理事会にて協議を行っている	第三者委員会の設置を検討している
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12				新任職員研修の実施 内部で防犯講習会、各種マニュアルの読み合わせ・確認等を行っている 外部研修会へも積極的に参加	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	12				保護者と面談の時間を確保し、家庭や学校での様子、事業所での様子を共有し、ニーズと課題を整理したうえで、計画を作成している	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	1	0	1	標準化はされていないが、個々の特性把握のために、特性シートを作成し活用している	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12				打合せを行い、意見を交換し合いながら立案している	
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	11	1			安全を第一に据えつつ、新しい活動も積極的に増やしている	今後も子どもたちに楽しんでもらえる活動を発信していきたい
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12					
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	3				今後も個別と集団のバランスを考えた実施を継続したいと考える
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12					
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	5			退勤時間が職員により異なるため、その日のうちに一斉共有はできないが、翌日のミーティングで共有している	翌日だけでなく、翌週の同じ曜日に再度、周知すべきことをより密に話し合っていくようにする

	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12						
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	1					
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	12						
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	12						
関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	11	1				送迎利用の子どもは、学校と情報共有をしている 年間行事等については保護者を通して予定表等で知らせていただいている 近隣の小学校の情報はメルマガで知らせていただいている	保護者と直接お会いすることが多いので、今後も積極的に会話し、情報を得ていく
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	3	2	2			現在は利用希望者がなく、受け入れ態勢が整っていない。今後、受け入れる場合には、連絡体制について整える。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	5	1				現在はあまり行っていないので、今後は必要に応じて行っていく
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	6	1				中学生までの受け入れのため、障害福祉サービス事業所へ移行したケースがない 今後、必要に応じて行っていく
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	3	1			研修会には積極的に参加している	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	8				保護者の中には希望しない方もいる 障害の特性上、公にすることが難しい面もあるが、今後も検討していく
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	6	0	1		利用者ごとのサービス担当者会議には積極的に参加している	仙台市には自立支援協議会の中に子ども部会が存在していないという現状がある。放課後ケアネットワークの一員として仙台市に働きかけている
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12					送迎時にお会いする方と話す時間を設けている	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	9	2	1			保護者の求めに応じて、助言を行っている	保護者会以外に保護者が集まる機会を設け、支援を行うことを検討する
保護者への説明責任	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12						
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12						
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12					年に2回、保護者会を開催している 父母の会の花植え活動への協力、イベントへの参加など、積極的に行っている	
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速に対応しているか	11	1					
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12						

サ	③⑤	個人情報の取扱いに十分注意しているか	12				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	7		地域の防災訓練には参加している 事業所の行事が少ないため、招待には至っていないが、プライバシーの観点も考慮し、今後も検討していく
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	10	2			緊急時の対応について、おたよりを活用して随時お知らせしている
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	2			10月に全員で虐待防止の研修を実施した
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	2			放課後等デイサービス計画に記載している
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11	1			医師の指示書が必要な子どもは現在はいない
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12				